

たまけん One Day Fieldwork 人権の森・多磨全生園を歩く

ハンセン病問題を存知でしょうか。近代以降、誤った国策によって筆舌に尽くしがたい偏見と差別にさらされ、人権を侵害され続けた患者や回復者たち。治癒可能と判明した後も日本では隔離政策が継続され、「らい予防法」が廃止されたのは1996年。国賠訴訟判決を受けて国が誤りを認めたのは2001年…わずか24年前のことです。国家的な人権侵害はなぜ起こり、なぜ最近まで続いたのか。私たちができること、すべきことは。

全国に13か所ある国立療養所のうち唯一都内に所在する「多磨全生園（東村山市）」を訪ね、国立ハンセン病資料館を見学し、専門家に説明を受けながら園内を実際に歩くことを通じて、学び合い、考え合えたらと願い、企画いたしました。皆様のご参加お待ちしています。

2026年2月1日（日）10:00～15:00

■集合・解散 国立ハンセン病資料館

東村山市青葉町4-1-13／電話）042-396-2909

西武新宿線久米川駅北口から清瀬行バス15分（または久米川駅北口に9:30）

■プログラム

10:00～11:30 国立ハンセン病資料館見学（映像+展示）

11:30～12:30 園内を歩く（納骨堂／全生学園跡／望郷の丘／山吹舎ほか）

12:30～13:30 昼食（園内食事処なごみ）

13:30～15:00 「ハンセン病と教育～負の歴史を人権教育にどういかすか」

■講師・ガイド 佐久間 建 氏（小学校教諭）

学校教員としてハンセン病問題を通した人権教育に30年以上にわたり取り組み続け、現在に至る。

著書に「ハンセン病問題と教育(人間と歴史社)」「13歳から考えるハンセン病問題(かもがわ出版)」等



■参加費

議員:8,000円/一般:5,000円
(いずれも昼食代込み)

■お申込みは

申込フォームから➡

またはメール／電話／FAXで



■主催

NPO法人多摩住民自治研究所

電話:042-586-7651 FAX:042-514-8096

E-mail)tamajitiken1972@space.ocn.ne.jp